



## 本会記事

# 第10回核融合エネルギー連合講演会 — 発電実証に向けた核融合研究の進展と拡がり — 一般講演(ポスター発表)募集

核融合エネルギーの実現に向けた ITER 計画や幅広いアプローチ活動の進展および大型ヘリカル装置の重水素実験の準備開始や高速点火実証実験等の展開が図られ、これらに基づいた原型炉に向けた研究開発の検討も本格化しています。このような状況を踏まえて、第10回核融合エネルギー連合講演会を、一般社団法人プラズマ・核融合学会と一般社団法人日本原子力学会の主催のもと、関連学協会の共催および後援を得て、下記の要領で開催いたします。

本講演会は、核融合エネルギーの研究開発における炉心プラズマや核融合工学を始めとする多くの関連研究分野の成果の検証とともに、発電実証に向けた核融合研究の進展と拡がりについて広範な議論を展開する貴重な機会となっています。加えて、多様な学協会や産業界との連携活動の場であるとともに、国民のご理解を得るためのよい機会かと思えます。本講演会が活気に溢れた議論のもと核融合エネルギー研究開発の加速に貢献する場となるように多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

組織委員長 二宮博正 (プラズマ・核融合学会長)

1. 会 期：2014年6月19日(木)~20日(金)
2. 会 場：つくば国際会議場 (エポカルつくば)

### 3. 講演者の資格

・主催学会 (プラズマ・核融合学会・日本原子力学会) ならびに、下記共催・協賛学協会\*の会員。海外の学術団体に関しては同等に取り扱います。

エネルギー・資源学会, 応用物理学会, スマートプロセス学会, 低温工学協会, 電気学会, 日本加速器学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 触媒学会, 日本真空学会, 日本赤外線学会, 日本地球化学会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本放射化学会, 日本放射線影響学会, 日本保健物理学会, 腐食防食協会, 放電学会, 溶接学会, レーザー学会, IEEE Nuclear and Plasma Science Society Japan Chapter (\*依頼中を含む)

### 4. 一般講演の制限

・講演の代表として一人一件に限ります。

### 5. 一般講演の発表形式

・ポスター発表。

### 6. 講演募集分野

連合講演会の趣旨にそったもので、以下に記す分野において最近行われた研究の紹介、トピックスのミニレビューなど、学術的に価値のあるものに限ります。

・一般講演募集分野：

A) 磁場閉じ込めプラズマ, B) 慣性閉じ込めプラズマ・ドライバ, C) プラズマ診断, D) 加熱・電流駆動装置,

E) 炉システム設計・超伝導マグネット・ダイバータ, F) 炉材料, G) トリチウム・ブランケット, H) プラズマ基礎・応用, I) その他関連研究,

### 7. 講演申込期限

**Webによる受付締切：2014年3月28日(金)昼12:00**

- ・一般講演申込は、原則として Web で受け付けます。**【Web講演申込記入上の注意】**に従って、期限までに申し込んでください。どうしても Web からの申し込みができない場合は、申込用紙(事務局までお問合せください)を**2014年3月27日(木)17:00**本会必着でご郵送ください。
- ・Webでの申し込みは上記締切期限を過ぎますとアクセスできなくなりますのでご注意ください。
- ・Web登録が受け付けられると、登録完了画面が表示され、受付番号を記載した電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は正常に登録されていないことが考えられますので、その場合には**3月28日(金)までに必ず事務局までご連絡ください。**
- ・発表の可否、講演番号は5月初め頃、電子メールでお知らせします。
- ・講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付・締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- ・やむを得ず当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

## 8. ポストデッドライン(PD)講演

- ・講演申し込み締切後に、有意義でかつ緊急に発表する価値があると認められる結果が得られた場合には、ポストデッドライン講演として申し込むことができます。
- ・Web ページでの指示に従い、6月2日(月)～6月5日(木)17時までに事務局まで所定の内容を電子メールで送信してください。
- ・申し込み内容は事前に審査され、6月11日(木)までに採択結果を通知します。
- ・審査の結果、発表が認められない場合もあります。

## 9. 講演予稿集について

**Web による講演予稿原稿提出期限：2014年 5月23日(金)**

【予稿原稿作成上の注意】に従って、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。

- ・予稿原稿は原則として Web ページから送信してください。どうしても Web から送信できない場合には、予稿原稿を紙に印刷し、2014年 5月22日(木)17:00必着で、事務局宛に郵送願います。なお、FAX、電子メールへの添付による提出は受け付けません。
- ・提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- ・6月9日(月)以降に全ての予稿を Web ページ上で公開いたします。ただし、予稿を閲覧する際には、予稿原稿受理通知の Web ページでお知らせするパスワードの入力が必要です。なお、講演なしで年会参加を予定されている方にも参加事前登録をしていただきますので、その登録終了画面にてパスワードをお知らせします。
- ・予稿は冊子体では配布いたしません。予稿は Web ページから、必要に応じてダウンロードするなどしてご利用ください。
- ・5月号会誌と同送いたします「プログラム冊子」は、講演会ご参加の際、各自で必ずお持ちください。会場での配布はいたしません。

## 10. 参加登録および参加費

- ・講演を申し込まれる方、参加のみされる方、いずれの場合も Web ページ <http://www.jspf.or.jp/10rengo/> よりご登録ください。登録期限 5月23日(金)。
- ・登録終了後、順次、事務局からハガキ型払込取扱票（全国のコンビニエンスストアで取り扱い可）を郵送いたしますので、6月5日(木)までにお支払いください。尚、この払込期限を過ぎますと「割増料金」が適用されます。また払込取扱票の再発行は有料となりますのでご注意ください。
- ・オンライン登録がお済みでも、期日までに払い込みいただけない場合は「割増料金」が適用されますのでご注意ください。事務処理の効率化を図るため、本講演会への参加申し込みは原則として事前登録とさせていただきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- ・参加費は、主催学会ならびに共催学協会の正会員6,000円、非会員7,000円、学生会員3,000円、学生非会員3,500円です。払込期限の6月5日以降は、上記参加費に一律1,000円の割り増し料金が付加されます。尚、クレジットカードのお取り扱いはありません（当日受付を含む）。
- ・いったん払い込まれた参加費は返金いたしません。

## 11. 懇親会

講演会初日、6月19日(木)夕刻、山水亭において懇親会を行います。送迎バスを手配いたしますので、お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。参加費は一般5,000円、学生2,500円を予定しています。詳しくは Web ページをご覧ください。

## 12. 見学会

6月18日(木)午後（会議開催前日）に JAEA 那珂核融合研究所の見学会を予定しています。参加費（バス代）1000円（学生は無料）の予定です。事前予約が必要となりますので、詳しくは Web ページをごらんください。

## 13. 連絡先

第10回核融合エネルギー連合講演会 事務局  
464-0075 名古屋市千種区内山3-1-1  
プラズマ・核融合学会事務局内  
Tel 052-735-3185 plasma@jspf.or.jp

\*最新の情報は講演会 Web ページにてご確認ください。  
<http://www.jspf.or.jp/10rengo/>

## ■Web 講演申込記入上の注意

下記 Web サイト内のオンライン申し込みページからご登録ください。セキュリティ確保のためご登録に際しアクセスキーを入力していただきます。一般講演応募のアクセスキーは「rengo10」です。

\*オンライン申し込み Web サイト：

<http://www.jspf.or.jp/10rengo/>  
一般講演登録用アクセスキー：rengo10

- ・講演申し込み内容の中には省略できないものがあります。その場合、注意画面が出ますので指示に従ってください。
- ・講演分野の欄には6.の一般講演募集分野に付した英文字を記入してください。
- ・下記の例を参考にキーワードを3つまで記入してください。
- ・連絡代表者の方を記入する氏名欄と著者を記入する氏名欄があります（連絡代表者は原則として登壇者となります）。後者には登壇者を含む全員のお名前をご記入ください。
- ・講演内容要旨はプログラム編成上の参考としますので、

十分に内容がわかるように記述してください。

- ・講演申し込み時に講演受付番号をお知らせいたします。訂正，確認の際に必要になります。

キーワードの例（英語でもよい）：

・カオス，渦・径電場，輸送障壁・MHD安定性，電流駆動・SOL，プラズマシース，熱流・爆縮，R-T不安定性，照射一様性・イオン温度，レーザー散乱，データ処理・材料損傷，スパッタリング，ダイバータ・ヘリコンプラズマ，成長速度，膜質 など

### ■予稿原稿作成上の注意

講演予稿原稿を下記の要領にて作成してください。

Web ページには原稿見本を用意しています。

- ・予稿原稿はA4縦長サイズ用紙に上下左右各15mm程度の余白をおいて作成してください。

- ・一般講演は，1ページ以内，その他の発表者は2ページ以内で作成してください。
- ・枠内左上隅の指定位置に学会事務局から通知された講演番号を記入してください。
- ・講演題目は中央揃えにして一行目から書いてください。予稿原稿の講演題目は講演申込時のものと必ず同一にしてください。
- ・講演題目（和文および英文）の下に著者名および所属略称（和文および英文）を書き，1行以上の空行をおいた上で本文を書き出してください。
- ・著者が多い場合，英文著者名の記載を5名程度とし後はet al.にしてもかまいません。
- ・図表および写真は原稿内にそのまま貼り付けてください。Webから送信される場合は必ずPDFファイルとして作成してください。